

病院薬剤師として学び続ける ～WEBによる研修会が日病薬病院薬学認定薬剤師制度における正式な研修形式となりました～

日本病院薬剤師会理事
山形大学医学部附属病院教授・薬剤部長
山口 浩明 Hiroaki YAMAGUCHI



令和2年度より日本病院薬剤師会理事を拝命致しました。生涯研修委員会を担当しております。

コロナ禍で生活様式が一変し、これまでに参集することに何も疑問を抱かなかった学会や研修会の開催形式もそれらのほとんどがオンライン形式や少人数のみが会場参加するハイブリッド形式となっています。日本病院薬剤師会（以下、日病薬）では、会員の皆様の研鑽の機会を確保するために昨年6月より日病薬病院薬学認定薬剤師制度の特別措置として、本年3月末までに開催する研修会を対象としてWEBを利用した研修会の単位発行を認めております。特別措置の開始後、生涯研修委員会では、多くの会員や研修会実施機関より、特別措置の延長やWEBを用いた研修会を恒常化してほしいとの要望を受けました。この先の見えないコロナ禍においても自己研鑽のための機会を望む声が強いは日病薬病院薬学認定薬剤師制度にかかわっている者として非常に嬉しいことです。離島で勤務されている会員等を含む、研修会場に物理的に足を運ぶことができない会員にとっては、研修がオンライン化したことによるメリットが大きいこともわかりました。こうしたことから、生涯研修委員会ではWEBによる研修会を正式な研修とするための日病薬病院薬学認定薬剤師制度の規程細則の改正を行いました。

また生涯研修委員会では、eラーニングのコンテンツの拡充にも努めております。令和2年度には、研修会の開催が限られているといった状況もあり、20を超えるコンテンツを新たに公開しました。現在約60のコンテンツの視聴が可能となっております。多彩な研修領域をカバーした非常に充実した内容となっておりますので、是非ご活用ください。

ご存知の会員は少ないかもしれませんが、日病薬病院薬学認定薬剤師制度は公益財団法人薬剤師認定制度認証機構（Council on Pharmacists Credentials：以下、CPC）の基準をクリアし、CPCによる認証を受けて運用されています。平成27年に新設され、平成30年より日病薬病院薬学認定薬剤師の認定審査を開始し、現在9,045名の認定取得者がおります。日病薬病院薬学認定薬剤師は、高度化・複雑化する薬物療法等の幅広い知識および高度な技能を習得し、臨床現場における実践力を有すると認められた薬剤師です。同時に日病薬病院薬学認定薬剤師の認定取得は、各種専門・認定薬剤師へのステップアップにつながります。新年度に入り、新たなメンバーが加わった施設が多いことと思いますが、日病薬病院薬学認定薬剤師制度を積極にご活用いただき、医療の質向上に向け、病院薬剤師として学び続ける姿勢を大切にしていただければと思います。